



酷暑対策と食支援の3大取組を実施

鴻巣市では、近年の気候変動の影響等による記録的な猛暑による熱中症等の健康被害リスク及び物価高騰等を背景とした生活困窮の深刻化による夏季休業期間中における食事機会の確保を目的として、こどもたちを対象とした酷暑対策と食支援の3大取組を実施しています。

① こどもクーリングシェルターと昼食無料提供

令和8年4月27日付け、超党派の国会議員で構成する「子どもの貧困対策推進議員連盟」等による夏休みこども緊急セーフティネット構築プラン活用に向けた緊急要請を受け、拡充された補助メニュー「地域こどもの生活支援強化事業」の「長期休暇期間集中実施型」を活用し事業実施を行っています。

この長期休暇期間集中実施型は、長期休暇期間中に集中的に、暑さ等対策の整った安全な居場所で食事を提供するもので次の要件を満たす必要があります。(a)地域における夏休み期間中は必ず実施すること。(b)長期休暇期間中、平均週3日以上実施すること。(c)支援する食数は、最大1日1人あたり2食とすること。(d)暑さ等対策の整った安全な居場所において、1日あたり6～8時間程度 開所して実施すること。とあり、すべての条件を満たしての実施となっています。

鴻巣市では、6月議会最終日に補正予算を計上し、議決後速やかに、市内こども食堂運営団体に協力依頼をし、夏休み開始後の7月22日(水)から市内2つの児童センターで昼食を無料で提供しています。

事業詳細

1. 期 間 令和8年7月22日(水)から8月28日(金)まで
(休館日等を除く、平日の火曜日から金曜日の合計21日間)
2. 場 所 鴻巣児童センター 1日限定50食
吹上児童センター 1日限定30食
3. 対象者 市内在住の小学生・中学生
4. 委託先 こども食堂ミルキーウェイ(鴻巣児童センター)
ふきあげこども食堂(吹上児童センター)
5. 食事代 無料(事前予約制)
※提供食数 914食(8/25時点)



② 鴻巣女子高等学校と連携した出張こども食堂の実施

包括連携協定を締結している鴻巣女子高等学校との協働で、給食が提供されない夏休み期間中に、こどもたちが多く集まる児童センターにおいて、出張こども食堂及び同時開催イベントを実施し、鴻巣女子高等学校の生徒42名が運営に参加しました。

鴻巣女子高等学校による出張こども食堂「のすっこ ペこぱく食堂」では、同校の生徒たちが検討した献立が調理・提供されました。食材等については、多数の「このとり SDGs パートナー」企業にご支援いただき実施しました。

また、同時開催イベントについては、包括連携協定を締結している企業の協力を得て、出張こども食堂の実施に併せて、こどもたちに学びの機会を提供しました。

◆鴻巣女子高等学校「のすっこ ペこぱく食堂」

献立：キーマカレー・枝豆とじゃがいものいももち・にんじんしりしり・セタ二色ゼリー

実施日：令和8年7月23日(木)・7月30日(木)

実施場所：鴻巣児童センター・吹上児童センター

※11:30～13:30の間、昼食の提供を行いました。

※7/23(木)18組50食(完食)・7/30(木)19組50食(完食)

◆同時開催イベント

◎「株式会社セキ薬品 × アサヒ飲料株式会社 × 鴻巣女子高等学校 × 鴻巣市」

包括連携協定を締結している株式会社セキ薬品との連携により、アサヒ飲料株式会社にも協力いただき、鴻巣女子高等学校の生徒が、熱中症対策講座を実施し、熱中症対策としてカルピス飲み比べも実施しました。

※参加人数 約120人(2日間)

◎「大東建託株式会社 × 鴻巣市」

包括連携協定を締結している大東建託株式会社との連携により、VRゴーグルを使った被災体験や新聞紙スリッパ作成、間伐材を使ったオリジナルペン立て作りを実施しました。

※参加人数 約180人(2日間)

なお、給食の提供されない冬休み期間にも、同様に鴻巣女子高等学校との協働による出張こども食堂の実施を予定しています。

③ コミュニティバス「フラワー号」の小中学生運賃無料

酷暑対策の一環として、熱中症等の予防を目的に夏休み期間中に小中学生フラワー号の運賃を無料にしています。

※利用人数 2369人(8/20時点)